

第8回教育研究評議会記録

日 時 平成22年1月13日(水) 15:01~16:47
場 所 柏原キャンパス事務局棟 大会議室
出席者 長尾, 栗林, 岩川, 木立, 成山, 野田, 宮野, 横井, 正木, 森, 米川
石田, 越桐, 中井, 守屋, 高橋, 高山, 向井, 横山, 岩崎, 藤井, 畦 (22名)
陪席者 野口監事
傍聴人 高鍬裕樹 准教授

開会に先立ち, 長尾学長から議事の進め方について, 議題(1)(2)の後に報告事項(2)を行い, その他については開催通知の順番に進める旨の発言がなされた。さらに, 傍聴申請があった1名に対して, 議題(1)(2)及び報告事項(2)以外の傍聴が認められた。その後, 平成21年度第7回教育研究評議会の記録確認がなされた。

議題(1) 平成22年度教員人事について

長尾学長から採用人事2件の提案がなされ, 原案どおり了承された。

議題(2) 平成22年度教員昇任計画について

長尾学長から昇任計画13件の提案がなされ, 原案どおり了承された。

報告事項(2) 平成22年度教員採用計画について

長尾学長から採用計画(特任教員)1件の報告がなされた。

議題(3) 第2期中期目標・中期計画について

長尾学長から資料に基づき説明が行われ, 質疑応答の結果, 原案どおり了承された。

【主な質疑】

- ・ 第2期中期目標・中期計画の策定にあたって, これまで全学を挙げて議論してきたが, 目標及び計画の達成に向けて, 今後も全学の合意を得てから実行に移していくという過程を踏む必要があるのではないかとの意見がなされた。

議題(4) 試験及び成績に関する規程の一部改正について

野田副学長から資料に基づき説明が行われ, 原案どおり了承された。

議題(5) 指導教員制に関する規程の一部改正について

野田副学長から資料に基づき説明が行われ, 質疑応答の結果, 原案どおり了承された。

【主な質疑】

- ・ 教員一人あたりの指導学生数について, できるだけ少人数になることが望ましいが, 講座等によって教員数が異なるので, 実情に応じて柔軟に対応されたいとの野田副学長の説明に対して, 指導学生数が少人数となるような教員配置を期待しているとの意見がなされた。
- ・ 指導教員制が確立すると, 卒業論文の指導教員の役割はどのように変化するのかとの質疑に対して, 従前どおり卒業論文の指導を担っていただきたい。ただし, 原則として就職を含めた生活一般については指導教員が担っていくことを想定しているとの答弁が野田副学長よりなされた。

- ・ 指導教員と卒業論文の指導教員を兼ねることとはできるのかとの質疑に対して、趣旨としてはできるだけ区別してほしいが、専攻の実情に応じて判断し、やむを得ない場合は可とするとの答弁が野田副学長よりなされた。
- ・ 履修カルテのシステムは現在作成中であるが、その内容としては学生の履修状況や課外活動及びボランティア活動等を記録するものであり、学生の指導に活用していきたいとの補足説明が野田副学長よりなされた。
- ・ 学年の担当がそのまま持ち上がる指導教員制については、人数的に実施することが困難な講座等もあるかと思うが、可能な限り実現を図っていただきたいとの補足説明が野田副学長よりなされた。
- ・ 将来的に学級担任を設置して、ホームルームのような時間を設定する可能性はあるのかとの質疑に対して、そのようなことも想定しており、最終的には学生の代表者が大学側に意見を申し述べるようなクラス代表制に移行することも実現したいと考えている。ただし、移行に向けてはその基礎となるクラスや指導教員制をまずは確立することが重要であるとの答弁が太田学長補佐よりなされた。

報告事項（１）学長補佐の任命について

長尾学長から資料に基づき報告がなされた。

【学長補佐の任命について】

- ・ 学 長 補 佐 准教授 二 井 仁 美（学校教育講座）
（男女共同参画推進担当） （任期 平成22年1月1日～平成22年3月31日）

報告事項（３）平成24年度大学入試センター試験の利用方法について

報告事項（４）大学院カリキュラムの一部改正について

（３）～（４）について、野田副学長から資料に基づき報告がなされた。

報告事項（５）その他

- ・ 国大協臨時学長等懇談会（1／8）について
長尾学長から報告がなされた。

【主な質疑】

- ・ これまでは運営費交付金1%減を前提に教員配置計画を策定してきたが、来年度以降は策定方法を見直すのかとの質疑に対して、現時点で平成22年度の予算が成立していないこと、並びに平成23年度以降の予算がどのように立てられていくのかが不透明であることを鑑みると、教員配置計画の策定方法を見直すことはできないとの答弁が長尾学長よりなされた。

以 上